

「育ちと学びをつなぐ」
幼保小連携・接続版②

遊び学び育つひろしまっ子!

幼児期の生活に近い活動と児童期の学び方を織り交ぜながら、幼児期の豊かな学びと育ちを踏まえて、児童が主体的に自己を発揮できるようにする場面を意図的につくる「スタートカリキュラム」。今年度は、県内すべての小学校で「スタートカリキュラム」が実施されています。実際に取り組み、子供の姿を振り返ってみると、いろいろな気づきが生まれたのではないのでしょうか。それらを、ぜひ園・所の先生方、小学校の先生方で共に共有してみましょう。今回のテーマは、「子供の姿を共に語ろう」です。

子供の姿を共に語ろう

～園・所と小学校の視点から～

◆スタートカリキュラム実施時の子供の姿を振り返って…

幼児期の育ちと学びが小学校で発揮できていたか、援助は適切であったか、それはなぜか等について振り返り、成果や改善点を共有する。

◆授業（保育）参観、交流活動等を通して…

授業（保育）参観等を通して見られた子供の姿や学びについて話し合う。

【参観協議の視点例】

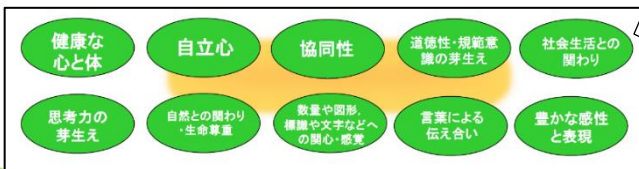
- 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
 - 育成を目指す資質・能力（3つの柱）
 - 広島県が考える乳幼児期に育みたい「5つの力」
 - 幼児教育と小学校教育のつながり
- 例) 幼児期の育ちと学びが、小学校の授業でどのように生かされていたか 等

◆写真や映像、エピソードを持ち寄って…

園・所や小学校での子供の姿を写真等にして持ち寄り、子供の発達や主体性を育む支援の在り方について話し合い、目指す子供の姿のイメージを共有する。



幼児期の終わりまでに育ってほしい姿とは？



幼児教育において育みたい資質・能力が育まれている幼児の具体的な姿であり、特に5歳児後半に見られるようになる姿です。
幼稚園教育要領解説（平成30年3月）等において、「小学校の教師と『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』を手掛かりに子供の姿を共有するなど、幼稚園教育と小学校教育の円滑な接続を図ることが大切である」と示されています。

メッセージ ～子供たちと向き合う先生方へ～ 安田女子大学 朝倉 淳 教授

子供の姿を見るとということ



私たちは何らかの形であちこちを見て暮らしています。しかし、ありのままを見ていくわけではなく、脳内において刺激を取捨選択し再構成してイメージを立ち上げていると言われます。同じ景色を見ても、それぞれが見ている景色は同じではないのです。

保育・教育において子供の姿を見ることは欠かせない営みです。しかし、人によって同じように見えていないはずで、真の姿に近づくためには、それぞれが見方を鍛えなければなりません。その営みが保育研究・授業研究です。子供の姿がどう見えるのか。子供の姿をどう解釈するのか。正解があるのではなく、一人一人が多様な視点をもつことが重要です。

子供も大人も、変化を続ける存在です。私たちが子供の姿をなんとか了解した時、その子供はすでに次の姿へと成長していることでしょう。子供の姿には、次の成長の芽が隠れています。それが見えれば嬉しいですね。

新しい秋を迎えます。子供たちとともに見方を鍛え、身近な秋を楽しみたいものです。



朝倉教授には、本県のような取組に関して御指導をいただいています。多数の市町の幼保小連携協議会や合同研修会にもご助言をいただいています。

県内の幼保小連携・接続の取組紹介～熊野町～

夏休み中は、様々な地域で新型コロナウイルス感染症の対策をしながら、幼保小連携・接続の協議会等が実施されました。その中から、今回は熊野町の様子を紹介します。

第3回熊野町幼保小中高連携教育推進協議会

令和3年7月29日（木）

午前：保育体験（小中学校教員対象）

午後：アプローチカリキュラムの見直し

（幼稚園・保育所・認定こども園教員等対象）

【参加者の感想】

- ・一人一人に応じた支援を工夫することは、幼保小中高のすべてに通じることで、大切だと思った。
- ・「一人一人を認める」、「ほめる」、「そっと手助けをする」という保育者の関わり方を参考にしたい。

保育体験



小中学校の教員が、町内の保育園で自ら作成した保育案をもとに保育をしたり、園・所の各年齢の担任と一緒に子供に関わったりしました。

アプローチカリキュラムの見直し



「子供の姿をもとに」という指導計画作成の基本となる考え方を改めて確認するとともに、カリキュラムの見直しに向けて、各園の子供の育ちや学びについて協議しました。

幼児教育長期派遣研修

乳幼児教育支援センターでは、小学校の教員が幼稚園等で1年間研修をする「幼児教育長期派遣研修」を行っています。今年度は、竹原市立小学校の教諭1名が広島大学附属幼稚園で研修しています。

研修生の学びをぜひご覧ください。

幼児教育長期派遣通信1学期号

研修生自ら幼稚園での学びをまとめた幼児教育長期派遣通信1学期号が完成しました。



【内容】

- ・1学期の研修内容
- ・派遣園年長組の1日の紹介
- ・事例（エピソード）から見る5つの力の育ち 等

詳しくは乳幼児教育支援センターのHPへ

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/450270.pdf>

★2学期号、3学期号も出来上がり次第HPに掲載します。

★過去の研修生のものも見ることができます。

研修生は、日々子供と触れ合い、子供の姿を見取りながら、事例（エピソード）を記録しています。

1学期号には、右の写真に関わる事例も掲載されています。



タブレット、スマートフォンはこちらから

【発行元及び連絡先】広島県乳幼児教育支援センター

〒730-8514 広島市中区基町9-42 広島県教育委員会事務局（県庁東館6階）

TEL (082)513-4978 FAX (082)212-3331

広島県乳幼児教育支援センターホームページ <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/youji-index.html>

